

国際医療福祉大学塩谷病院 看護部だより

～介護職編～

今回は看護部になくてはならない存在の介護職について紹介します。

国際医療福祉大学塩谷病院では、30名の介護職が療養病棟・回復期病棟・在宅ケアセンターで働いています。他職種と協力して患者さんのケアや自立に向けた支援を行っています。研修として「自部署の良いところ」についてグループワークを実施しました。その後お弁当を食べながら楽しいひと時を過ごしました。



療養病棟

- 吸引や経管栄養の方法、介護保険について勉強になります
- 看護師と一緒にケアを行うことでいろいろと学ぶことができます。
- 何かあった時に、すぐ近くに医療スタッフがいてくれる安心感があります。

回復期病棟

- リハビリを目的としている方が多く、目に見えて良くなっていくのが分かります。
- 他職種との連携が取れます。
- ADLの低下した患者様が、杖で帰る姿を見るととても嬉しくなります。
- 職場が明るいです。



美味しい
お弁当でした！



在宅ケアセンター

- ゆとりを持って介護ができます。
- 送迎中に個人的なお話を聞くことができ、勉強になります。
- リハビリの知識を学ぶことができます。
- 利用者様がデイケアを卒業することができた時に喜びを感じます。

ユニフォームが明るいモチベーションがあがる！などの意見がありました♪
改善可能なことから検討していきたいと思えます✦

